

今月の一枚



宝物の説明をする住職（令和7年8月2日 順慶寺玄関にて）

順慶寺だより

印刷・発行 順慶寺
2025年(令和7年)

9月号

VOL.383

◆◆ 前住職からの習わし ◆◆

順慶寺では、夏に宝物のお虫干しをするのに合わせて、御門徒の皆様に住職が宝物の説明をすることになっている。前住職は、愛知県や刈谷市の文化財保護審議委員をしており、文化財の説明を得意としていたが、そのやり方を踏襲して、現住職も宝物を棒で指しながら説明をしている。

◇ 温暖化に苦しむヒグマ ◇

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より、
「すべての者は暴力におびえ、
すべての者は死をおそれる。
己が身にひきくらべて、
殺してはならぬ、殺さしめてはならぬ。」
(第二九偈)

からの出典です。

この「殺してはならぬ、殺さしめてはならぬ」という一節は、釈尊の①非暴力への言葉として、多くの方が注目し引用される言葉です。

ただ、今回は、「殺してはならぬ、殺さしめてはならぬ」の一節を、あえて「他を傷つけないようにせよ」と意識し、読み替えをさせていただきます。

それは、このところの高温による異常気象で、北海道が日本最高気温となったり、観測史上最高の降水量になったりして、ついにヒグマが山から下りてきたことに対する危惧からです。ヒグマは本来、針葉樹林を中心とした森林地帯で、人里から離れたところ生息しています。食性は

今月の釈尊の言葉

生あるものは
暴力に怯え死を恐れる
己が身にひきくらべて
他を傷つけないようにせよ

若院のテーマカット NO.74



雑食で、ツキノワグマと比べると肉食の傾向が強いとされています。ただ、一般的に、ヒグマが人食い熊となるのは、全体の0.1%ほど、つまり千頭に一頭ほどだと言われますが、一旦人食い熊となると、その個体が次々と人を襲うようになるので危険なようです。

もともと熊は、森の番人ともいわれ、木の実を食べる際に落ち葉が促進されるため、腐葉土が増し、森林の維持に貢献する益獣とされていました。テディベアや森のくまさんなどで、人々に愛されているのはそのためです。

その益獣であった熊が、人間の営みによる温

『ダンマパダ』
第129偈より

暖化によって、居場所を失い、人里に降りてくることで人的被害が続出することになってしまいました。

本来は森の奥に住み、暴力に怯え身を護っている熊が、人と遭遇してパニックとなって被害を及ぼす現実にするせなさと覚えます。

◇暴力に怯えるものを護ること◇

平安時代の高僧・恵心僧都^{えんしんそうず}（源信^{げんしん}）は、親鸞聖人が七高僧として「正信偈」に上げられた日本屈指の高僧です。

その恵心僧都に一つの逸話が残っています。

ある日、恵心僧都のお寺・恵心院に一頭の鹿が迷いこんできました。

それを見た恵心僧都は、形相を変え、「鹿が迷いこんできたから早く追い出せ」と弟子たちをせき立て、自らも杖を振りかざしました。

①【非暴力】

サンスクリット語ではアヒンサーという古代インドに起源を発した宗教（ヒンドゥー教、仏教、ジャイナ教）の重要な教義。アヒンサーは生き物を殺したり害したりすることを禁止する行動規範で、あらゆる種類の暴力が好ましくからざる業果をもたらすという信念に密接に関連付けられる。最古の仏典では「生きものをみずから害してはならない。また他の他人に殺させてはならない。また他の

弟子たちは、普段、思慮深く温厚で、人々に対して慈悲深い師匠が、どうしてそんな荒々しい行動をされるのか意味が分からず、大慌てで迷いこんできた鹿を追ひ払いました。こうした師匠の姿を見たことがなかった弟子たちは、何か気に障ることをしたのではないかと心配になり、皆で師匠の顔を見つめました。

すると、恵心僧都は、「わたしは、鹿を人に慣れさせないようにしようと思ったのだ。鹿が人に慣れて度々人里に出てくるようになれば、やがて人に命を取られてしまう。それが不憫でならんのだ」と応えたそうです。

暴力に怯え、命を守っているものが、意味なく殺されていくのが現実。しかし、私たち自身も暴力に怯え、自らを護って生きている身。互いに生命をいったり合いたいものです。

人々が殺害するのを容認してはならない」と説かれている。（Wikipediaより）

②【源信】生没年（九四二〜一〇一七）

平安中期の天台宗の僧。比叡山横川の恵心院に住したことから恵心僧都とも呼ばれる。九歳で比叡山に入山。良源を師と仰ぎ、十三歳で出家、叡山の僧となる。多くの著述を残しているが、なかでも四十四歳の時に著した『往生要集』は、鎌倉浄土教発生の基礎として広く読まれた。（奈良県資料から）



新米の便りが聞こえる季節になりました。お米は仏教と関係ありますか？



そうですね。新米が採れた今年も本当に暑い中なので、収穫をされた農家の皆さんは大変だったのではないのでしょうか。

このごろの農業は機械化が進み、田起こしにはトラクター、田植えには田植機、収穫にはコンバインと便利な機械が揃っています。そのため、収穫量は増えましたが、作りすぎということに減反することになってしまいました。



新米の便りが聞こえる季節になりました。お米は仏教と関係ありますか？

どの農業用機械も、高級車なみの費用がかかり、収納するための納屋も必要のため、農家の皆さんに対する負担は莫大ですから、悲鳴が上がりました。また、いいお米を作るには寒暖差が必要です。朝晩の気温が下がるとか、冷たい水が得られれば、いいお米ができるようですが、昨今の温暖化でそうした状況ではなくなってきて、いい品質のお米を収穫するには大変な苦労があるとお聞きました。

かつては、お米は備中鋤で田起こしをして、手で田植えをし、鋤で稲刈りをしてからハザ掛けで天日干しにしてから、脱穀をするので、農家さんの作業は大変でした。腰が曲がって、日焼けでシワだらけになっても働いておられた姿が目に残っています。

今も昔も、苦労して収穫したお米に感謝して、仏さまにお供えします。

《第六十五回 お盆》

先日お盆にお参りに上がったお家の方が、「しっかりと先祖様をお迎えしなくては」と言われているのを耳にしました。

浄土真宗では靈魂が戻ってくるようなことは言いませんよ、と言いかけてましたが、口にはしませんでした。

先祖を大切に、仏様に手合わせすることを否定してしまふのは間違っていると思ったからです。

むしろ、「この考え方は間違っている」と善悪を決めてしまふ自分がいることに気付かされ、また、考えさせられました。

お寺とともに

「水やり」

順慶寺の地域には、なかなか雨が降りません。もはやいつ降ったか思い出せないほど毎日恨めしいほどの晴れマークです。

炎暑の日中は灼熱地獄なので、熱波が収まる夕方時分に、ゴソゴソと境内の水やりをするのが今年も夏の必須の仕事となっています。

まず、水道から出るのが「お湯」なので、そこから圧倒されています。鉢植えの土や地面はひび割れて乾いたもの。ついつい水やりしすぎて根腐れさせてしまうこともあります。

一日でも水やりを怠ると、あっという間に枯れてしまう酷い状況ですが、不思議と地生えで生えてきた花や雑草は放っておいても枯れません。

植木鉢はなるべく西日の当たらない所に置いていますが、この猛暑からお花を守るにはもっと知恵を絞らないといけないです。

畑の方々が「水やり二時間」とおっしゃってられました。そう思うと、食卓にのぼるお米や野菜に感謝もひとしおです。



順慶寺執事

祠堂新規上納者並びに俱会一処該当者

法名並びに名簿一覽

来たる九月十二日（金）、順慶寺において、祠堂法要（秋季永代経）が過去五十年間（昭和五十年九月と令和七年八月、命日に関わらず上納から五十年間施主宅にご案内）に祠堂金を上納された方々への法要が開催されます。

昨年度（令和六年度）令和六年九月と令和七年八月、新たに祠堂金を順慶寺に上納され、御紐解き法要（祠堂開き）を執行させていただいた方々（または執行予定の方も含む）は、以下の通りです。

新規祠堂上納者一覽（敬称略）

為妙実院釋尼澄江 池田ゆき江
願主 池田正己（山ノ端組）
為精致院釋美徳 池田美木夫
為精陽院釋尼彩光 池田小夜子
願主 池田加代子（今川西組）
為優駿院釋滿誠 石川滿儀
願主 石川幹洋（下高根）

為釋尼喜光 杉浦喜代子

為釋勝眞 杉浦勝三

願主 林ももこ（知立市）

為宝土院釋尼美香 加藤土美子

願主 竹本恒裕（安城市）

為淨道院釋孝誠 鬼頭孝次

願主 鬼頭政利（一ツ木町）

為教信院釋尼妙豊 志水とよ子

願主 志水孝則（下高根）

為精妙院釋雅楽 池田雅博

願主 池田雅実（大久屋前川組）

為釋勝観 塚本勝美

願主 塚本良子（名古屋市）

為淨識院釋正音 岡本正和

願主 岡本知佐子（市場下組）

為朋友院釋亘教 塚本 亘

願主 塚本 充（今川西組）

〔注〕祠堂金は、三分の二を順慶寺の什物拡充などに充て、三分の一を護寺会金として、護寺会会計に積立をさせていただいています。

〔注〕掲載されているのは、現在本堂に掲出されている方々の分です。

俱会一処該当者一覽（敬称略）

以下は、本年五十回忌（昭和51年没）で俱会一処を迎えた方々の中で、当山須弥壇および納骨堂に納骨されたことが確認された方々です。
祠堂法要の午後より、法要をして納骨堂の中に共同埋骨します。

（命日） （俗名） （続柄）

1月12日 宮田春好 宮田政年の父

4月11日 鈴木キン 鈴木憲政の妻

5月10日 杉浦繁雄 杉浦幹雄の父

5月14日 池田とよ 池田篤紀の母

6月27日 酒井平三 酒井勝一の父

8月13日 塚本重忠 塚本敏金の父

8月22日 杉浦 昇 杉浦則雄の父

9月4日 鈴木ユキ 鈴木俊治の母

9月20日 塚本峯尾 塚本秋夫の養祖父

10月3日 岡本逸郎 岡本吉綱の父

10月13日 岡本定吉 岡本定治の父

11月2日 塚本ミキ 塚本篤治郎の妻

11月13日 志水金十 志水築子の夫

11月28日 清水そう 清水鯨太郎の母

12月14日 濱島なを 濱島善一の母

12月16日 鈴木市五郎 鈴木市治の父

12月26日 横山米太郎 横山義雄の父

以上十七名

8月度護寺会物故者（敬称略）

精香院釋芳樹

8月6日寂 岡本芳金（95）

今川西組 岡本佳祐様の父

釋尼織華

8月20日寂 池田惠美子（91）

刈谷市 池田隆様の母

編集部短信

◆盆会開催Ⅱ 8月2日、順慶寺本堂にて盆会が開催された。本堂須弥壇に収骨された方々に対する読経がなされ、本堂は満堂となった。また、同日から8月16日まで、宝物が順慶寺玄関に虫干し展示された。

◆境内ミストお彼岸まで延長Ⅱ 7月28日に境内に設置されたミストを、異常高温のため9月のお彼岸最終日まで延長することとした。

◆庫裏活用委員会設置決定Ⅱ 8月20日、順慶寺にて教化委員会を開催。今後の庫裏の効果的な利用法

編集雑誌

を検討するために、庫裏活用委員会を新設することとなった。

昨今の異常気性により、本来気性の大人しい北海道のヒグマが人を襲ったと報道されています。熊は森の番人と呼ばれますが、番人がこれではダメだと人に警告しているように思えます。いっせ熊を絶滅させてしまえとの声も聞きますが、それは逆に人間にいつかありそうです。（住）

記録的な暑さが続いています。育てている観葉植物も暑さのためか、葉先がしおれて、熱中症にかかったかのようです。装束には「クールビズ」がないため、工夫しながら暑さをしのいでいきたいです。（若）

お知らせ

2025順慶寺公開講座

九代玉屋庄兵衛&末松良一
「からくりの世界」
～からくり人形の驚きと感動～
日時：令和7年10月4日（土） 14:00～15:30
※13:00受付開始 13:30開場
場所：順慶寺本堂
※駐車場が限られますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください
※順慶寺関係者以外の方にもお声掛けください
九代目による実演・解説と末松氏によるからくり講演

尾陽木偶師 現代の名工 名古屋大学名誉教授

※ 小中高生含む家族でのご来場をお待ちしております
※ 入場無料（整理券は150枚）※詳細は順慶寺まで



9月の主な行事予定

日 曜	行 事 内 容	掃除当番
1 月	寺カフェ(9:00～、順慶寺本堂南落間他)	
	お楽しみ会(14:00～、順慶寺本堂)	
2 火		
3 水		
4 木		木-1
5 金		
6 土		
7 日		
8 月		
9 火		
10 水	大掃除(8:00～、順慶寺)	
11 木		木-2
12 金	祠堂法要・俱会一処式(下記参照、順慶寺)	
13 土		
14 日		

15 月		敬老の日
16 火		
17 水	同朋ゼミ京都研修旅行(知恩院ほか)	
18 木	真宗講座(16:00、順慶寺本堂)	木-3
19 金		
20 土	順慶寺子ども会(9:00、順慶寺本堂)	
21 日		
22 月		
23 火		秋分の日
24 水	助音講(16:00、順慶寺玄関)	
25 木		木-4
26 金		
27 土		
28 日	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	
29 月		
30 火	※護寺会バス旅行申込〆切	

9月行事内容 詳細

祠堂法要・俱会一処式

9月12日(金)

午前10時・午後1時 順慶寺本堂
法 話 西尾家等 伊奈祐諦氏

順慶寺に過去五十年間(昭和50年9月から令和7年8月)に祠堂があがっている方に対する、祠堂法要を厳修いたします。

祠堂の通知のあった方々、また、祠堂をあげない方でも法話の聴聞を希望される方は、遠慮無く御参詣ください。

※同日午後から、今年五十回忌を迎えた方のお骨を納骨堂下に埋骨する俱会一処式も実施いたします。

祠堂法要日程

9月12日(金) 午前10時から

会場：順慶寺

〇10時～12時 祠堂法要

法話：伊奈祐諦氏(二席)

(お斎) 正午、庫裏及び書院にて

〇13時～15時 俱会一処式・祠堂法要

法話：伊奈祐諦氏(二席)

(おやつ) 午後の法話の休憩時

◎午前9時から10時半まで書院にてお抹茶接待があります。

お知らせ

●公開講座整理券について

10月4日(土)に予定されている、九代玉屋庄兵衛他による「からくりの世界」(前頁に掲載)の入場整理券を配布しています。限定150枚。詳しくは各地役員または、順慶寺まで。整理券がない場合は、立見またはリモート席となります。

●護寺会バス旅行について

大阪万博のため延期していた護寺会バス旅行が、10月10日に予

定されています。今回の目的地は、奈良(薬師寺・般若寺)、会費一万二千元(メ切9月30日)。薬師寺では法話をいただき、バスの車中では住職からのお楽しみ現地クイズに珍しい景品があるそうです。詳細は順慶寺まで。

●9月・10月の寺カフェ催事について

9月1日の寺カフェではちさの会による琴の演奏、10月1日の寺カフェではちよここと体操が企画されています。お楽しみに。

じゅんこのときめき歳時記

敬老の日

みなさん、炎暑お見舞い申し上げます。それにしても8月は暑かったですね。クーラーをつけっぱなしにしないで生活できないくらいでした。暑さ寒さも彼岸までといいますが、9月のお彼岸には、少し楽になるのでしょうか。

さて、9月の中旬には、毎年敬老の日があります。実家の方では、地区役員の皆さんが敬老会を催してくださいましたので何となく印象があります。ただ、敬老の日にお年寄りにプレゼントする際に、寝具やパジャマ、鉢植えの植物、ハンカチ、文房具、お茶などがタブーだとか。寝たきりになること

や葬儀につながる、縁切れや働かされることを連想させることがいけないそうです。プレゼントは、受け取る側の気持ちになることが大切ですね。勉強になります。

区長代理来て

敬老の日なりけり

安住敦

